



# 福井県PTA

No.127  
2025 MARCH



発行者 福井県PTA連合会 会長 笠松 照喜 広報委員会  
発行所 〒918-8135 福井市下六条町14-1 (福井県生活学習館2階) TEL 0776-41-4253 FAX 0776-41-4333  
H P <http://www.fukui-pta.jp>  
E-mail [mail@fukui-pta.jp](mailto:mail@fukui-pta.jp)

## 令和7年度福井県PTA連合会スローガン

楽しむけれど無理しない  
みんなでつながる  
こどもまんなかPTA



県PTA特別委員会プレゼンツ「カタリバcafe」



第65回福井県PTA連合会研究大会



第65回福井県PTA連合会研究大会  
「一筆啓上わが家の三原則表彰式」



日本PTA東海北陸ブロック研究大会  
「殿下校思い出ツナグプロジェクト」発表の様子

### 目次

- ・福井県PTA各種委員会の活動報告 ..... P2・3
- ・福井県PTA連合会研究大会 ..... P4
- ・第80回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 愛知大会 ..... P5
- ・一筆啓上・わが家の三原則入賞作品 ..... P6・7
- ・カタリバcafe～事後トーク～ ..... P8
- ・子育てのヒント★発信中 親はぴトーク ..... P9
- ・(公社)日本PTA全国協議会年次表彰式 ..... P10
- ・ゆめ基金 ..... P11
- ・ドクター通信/安全会からのお知らせ ..... P12



PTA活動中の事故の防止を。万が一事故が起きたら、一報を。

福井県PTA連合会安全会 ☎0776-41-4253 (届出は30日以内)

申請の手続きや書類様式などは、県PTAホームページ上に掲載しておりますので、ご利用下さい。





# 福井県PTA1年間の活動報告

## 「ごあいさつ」

福井県PTA連合会 会長 笠松 照喜  
(勝山市立勝山北部中学校PTA)



広報第127号の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

会員の皆様におかれましては、今年度も、子どもたちの健やかな成長のため、様々な活動に取り組みいただきましたこと、感謝申し上げます。

福井県PTA連合会では、会員の皆様に様々な情報や学びの場、つながる場の提供と、各種支援を実施しています。

今年度は、子育てや教職員の方々の職場環境の改善など、子どもたちや学校に関する県議会等での議論の内容を総務委員会で収集・とりまとめを行い、福井県PTA連合会HPで周知させていただいたほか、学びの場やつながる場の提供として、「つながるセミナー」を2回開催し、「子どもの居場所を考える」、「子育ての悩みはなに？」をテーマとして、いわゆる不登校という状況や子育ての悩みについて、パネルディスカッションやセミナー形式の情報共有のほか、小グループに分かれての茶話会などで参加者の方が自由にお話いただくなど、やわらかい雰囲気の情報共有の会を開催いたしました。

また、12月15日に開催した第65回福井県PTA連合会研究大会では、一筆啓上我が家の三原則の優秀作品の表彰と、フリータレントの大川はるなさんにご講演をいただきました。

ご講演では、ご自身の不登校の経験を踏まえたお話のほか、当時は振り返りながらお母さんと対談いただき、参加された多くの方からご好評をいただきました。

その他、「福井の教育をよくするための県民協議会」に参画し、子どもたちの通学路の防犯対策や交通安全対策に関すること、学校生活の安全、安心と教育の質の維持のため、教職員の未配置解消に関すること、教育、福祉、医療など様々な分野が連携し、社会全体で子どもたちの育ちを支援する体制づくりに関すること、について福井県議会に請願し、無事採択いただくことができました。ご尽力いただきました多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。

以上の他にも、教職員の方々とフリートークセッションなどの開催も今後予定しています。今年度の活動は広報やHPで報告させていただいており、研究大会の様子はyoutubeにアーカイブを残しております。お時間のある時にご確認いただきますと幸いです。

福井県PTA連合会の活動は、各学校それぞれのPTA活動などで直接子どもたちに向き合っている会員の皆様を応援し支援するものであり、次年度以降も皆様のお声をいただきながら、福井県全体で子どもたちの健やかな成長を育んでいけたらと考えています。今後もご理解・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、今年度の福井県PTA連合会の活動に関し、役員や事務局の皆様には多くのご尽力をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

## 特別委員会

委員長 高田 五月

特別委員会ではPTA会員を対象に、様々なテーマでのセミナーを開催しております。

2024年10月5日(土)敦賀市にて、「県P連つながるセミナー～子どもの居場所を考える～」をテーマに、パネルディスカッションと座談会を開催しました。前半は、不登校や学校に適應できない子どもたちのための『子どもの居場所』をテーマに、民間のフリースクール代表者やお子様の不登校を経験されたお父様、子ども食堂代表者など4名のパネリストをお迎えし、ディスカッションを行いました。後半は、パネリストにも参加いただき、グループにて懇談し、各ご家庭における悩みや親の横のつながりを深めるなど、非常に活発な意見交換が行われました。

また2024年12月7日(土)には、「カタリバcafe」を福井県生活学習館にて開催しました。「子育ての悩みはなに？」を基に、イマドキの子育ての悩みや子育て中の気になること、よその家ではどうしてる?など、

特別委員会メンバーが直前に参加した講演での学びを交え、参加された保護者どうしが交流しながら子育ての悩みなどを楽しいトークで気軽に話合いました。またその後の懇談会では、思春期を迎える子どもとの接し方やママ友パパ友について等、話題は多岐に渡り大盛況のうちに終了しました。

今後も多彩なセミナーを企画していますので、皆様のご参加お待ちしております。



## 総務委員会

委員長 細川 和宏

総務委員会は大きな事業を担当する訳では無いものの、県P連活動を情報や審査という側面から、縁の下で支える重要な役割を担っているとの気概で一年間活動を行いました。

年度初旬に実施した、単位PTA活性化のための各種支援事業の応募審査。本年度は「ゆめ基金」に35件もの応募をいただき、審査に苦慮しながらも、県内各地PTAの多様な活動に大きな刺激をいただきました。引き続き、原資である書き損じはがきの収集にもご協力をよろしくお願いいたします。

また、年度を通して取り組んだ情報収集活動では、福井県議会を中心に教育や子育てに関する議論内容を委員皆で収集・要約し、教育環境の課題、行政の施策

や今後の方向性について広く共有しました。特に12月県議会では、総務教育常任委員会を傍聴する機会をいただき、検討されている事項の深意までも含んだ鮮度の高い情報を得ることができました。現場からの要望や請願も含めた今後の県P連活動の一助となれば幸いです。

初めての常任理事。要領を得ない所も多々あったとは思いますが、役員・総務委員の皆様、会員の皆様との繋がりに多くの学びとお力をいただき、どうにか役目を遂行することができました。一年間、本当にありがとうございました。



県教育情報へのリンクはこちらより▲

## 広報委員会

委員長 伊藤健太郎

広報委員会としては、PTA広報誌を通じて様々なPTA活動の内容をよりわかりやすく、また親しみを感じて頂ける様に地域の方々や保護者の方々に広報誌を通じて情報を発信していく事を念頭に置いて活動してまいりました。

広報誌の発行回数としては年間約2回（WEB上含む）の発行を予定しており、発行内容としては県内で行われる地区別研修会のレポート、各委員会の活動報告（つながるセミナー、広報誌づくり講習会）や全国で行われるPTA全国研究大会のレポート、県内での「一筆啓上・わが家の三原則」の受賞者の報告等を中心とし作成しております。



私自身、広報誌の作成に携わった経験が全くない状態からのスタートだった為、不安しかありませんでしたが、会長をはじめ、役員の皆様、委員会のメンバー、事務局の方々、その他大勢の方々のご協力及び、ご指導もあり自分自身でもとても納得の行く広報誌が作成出来たと思っております、この場を借りて深く感謝申し上げます。

PTA活動の楽しさが広報誌を通じて皆様に少しでも多く伝わる様作成しました。県PTAホームページもたくさんの情報掲載しておりますので併せてご覧頂けますと幸いです。



## 生涯学習委員会

委員長 松山 健二

今年度、生涯学習委員長をさせていただきました。何も分からないまま最初の会議があり、不安で、自分に出来るかなと心配でしたが、会長をはじめ、役員の皆様・委員の方々・事務局のご協力があり、無事に研究大会を終えることが出来ました。

「一筆啓上・わが家の三原則」では、各郡市・県PTAの皆様にご参加いただきありがとうございます。当日の表彰式では、会長賞三組の表彰者とそのご家族様が参加され、とても和やかで心に残る表彰式になりました。

タレントの大川はるな様の講演【私の選んだ道】と、お母様の大川祥代様とのトークセッションでは、「不登校」というセンシティブな内容を題材に、自身の体

験談・当時のお母様の心境を赤裸々にお話くださり、子を持つ保護者の皆様の為になる、楽しく、そして感動的な講演会になり、お二人にお願いして良かったなと思えました。

このような貴重な会をこれからも継続し、PTAの方々の教育・子育ての一助になってほしいと思います。ご協力頂きました皆様方、ありがとうございました。





# 福井県PTA連合会研究大会

令和6年12月15日(日) / 福井県国際交流会館 地下1階多目的ホール

今回の第65回研究大会では、一筆啓上・わが家の三原則にて会長賞を受賞された三組のお子さん含めたご家族への授与式及び、不登校を経験されている福井出身のフリータレント「大川はるな」さんとそのお母様を講師にお招きして、「私が選んだ道」と題してご講演頂きました。

当日の講演会の内容を少しでも多くの方に伝わればと思い大川様とお母様へこちらから質問を用意しコメント頂いておりますので以下に掲載させていただきます。

また当日の講演の様子も以下のQRコードにてアクセス頂ければご視聴頂けます。



## Q&A

### お母様

**Q** お子さんがつらい状況にあった時、お母様はどのように寄り添い、支えてこられましたか？

#### Answer

我が子が不登校でつらい状況にあった時、私は二つの視点を大切に寄り添いました。

ひとつは「学校に行けなくなってしまったとしても娘は全く大丈夫。娘の本質は相変わらず素晴らしく、人として尊敬する」

もうひとつは「娘に寄り添う私が現状を怖がったり、不安がったり、イラついたり、プレたりにしないように自分自身を整え続ける」でした。

**Q** 親として何が正しいか悩んでしまう時、不登校のお子さんを見守る上で大切に思うことを教えてください。

#### Answer

不登校の我が子を見守る時、私たち親が大切にしたい視点は「人生、生きる意味に立ちかえる」だと私は思います。私はそれは「楽しく生きる(樹木希林さんは「面白がる」という言葉を使っていましたね)」だと思っています。学校に通い友だちと語り、学ぶことはもちろん「人生、楽しく生きる」ことに繋がります。しかし学校に行けなくなったら人生はもう終わりでしょうか？ そんなことはありません。学校に行けなくてもいろんな方法で「人生を楽しく面白がって生きる」ことはできます。



### 大川はるなさん

**Q** 大川さんは、つらい時や心が折れそうな時にどのように乗り越えていますか？

#### Answer

状況にもよりますが、まずはしっかり自分の痛みを受け入れます。「辛いんだね」「泣きたいんだね」「その痛みも自分の一部だよ」と客観的に見て、自分の中に居場所を作ります。

そしてすこし安心して好きな音楽や映画、自然などが豊かになるものを見て、ただただ元気を貯めています！

また、自分の望んでいない環境で苦しんでいるのであれば、まずは心のエネルギーを回復させる事を優先します。逃げてよし！という気持ちです！そしてある日突然勇気が湧いてくるので、周りの人に頼ったり、その環境を思い切って離れるという選択をします。

行き詰まった時ほど、遠い未来よりもまずは周りにもあるものや自分が持っているものを見渡すことも大切な事だと思います！

**Q** 学校に行けない自分を責めてしまう人たちに対して、どのような言葉をかけたいですか？

#### Answer

私は不登校の時とても辛い時間もありました。学校に行けない自分は、社会から受け入れられていないような気さえしたし、大切なはずのみんなが敵に見えることもありました。

そのあと知ったのですが、世界にはいろんな人がいます。身近なところにもです！

学校を出て就職するひともいれば、学校には行かなかったけど就職するひと、はたまた私のように一人のんびり生きるひと。将来の保証はないけれど、よく考えたら人間みんなそうだし、結局生きられています。人はなりたい時になりたいものになれるらしいです！

きっと手遅れなんてありません。好きなものを優しく抱えて、人に頼って、感謝して生きることが大切だと思っています。

そして、本当に嫌なことからは逃げてもいいと思います。ちゃんと逃げて、その分向き合いたいものにとことん向き合ってみてはいかがでしょうか！

自分と周りの違いは、人生という山をどう登るか、だけかもしれません。

**Q** 大川さんが感じる「人生はこうでなければならない」という固定概念から自由になる方法を教えてください

#### Answer

「21世紀はもうOK!!」と考えるようになってからとても楽になりました!! 人間はどの何の影響を受けるかはあります! そんな自分を客観的に見ている自分がいるかどうかが大切な事だと思います。

逆に自由を意識すると「自由になれるはず」と自分にまたとらわれてしまうので、どんな自分を客観的に愛する事が出来ればもう最強ですよ!!

# 第80回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 愛知大会

## 愛知大会アンケート結果

福井市PTA連合会 会長 朝田 健一

令和6年10月25日(金)の13時30分から16時まで、会場は岡谷鋼機名古屋公会堂4階ホールにて第80回日本PTA東海北陸ブロック研究大会愛知大会の第1分科会家庭教育Aに参加させて頂きました。

最初に研究実践発表を福井市立殿下小中学校PTA「殿下校想い出ツナグプロジェクト」として10分間、質疑応答を約5分行いました。私も演台へ上がりましてPC操作をお手伝いしましたが、会場内の参加者はほぼ埋まっていて興味のある分科会の1つであると改めて実感しました。質疑応答では、将来において我が校が児童、生徒数が減少して、そして誰もいなくなり廃校になるのではないかという危機感を持っている方が大変多く、地域の方々に育ててもらうことが一つのモデルケースとして大変参考になったと言われていたのをとても印象に残っています。次の実践発表校として豊田市立飯野小学校PTAから「手軽なPTA活動をめざして～負担なく無理なく簡単に～」ということで、PTAの役員数を減らして効率よく活動を行う事例を紹介させて頂きました。

休憩後、アドラー式子育てを推奨する講師の方々にグループワーク、発表を交えた一味違った講演を行って頂きました。退屈する事なく自分の考えや想いを話せたのが大変良かったです。子ども達の自己肯定感を高められる様に、これからは意識して接していこうと改めて思います。

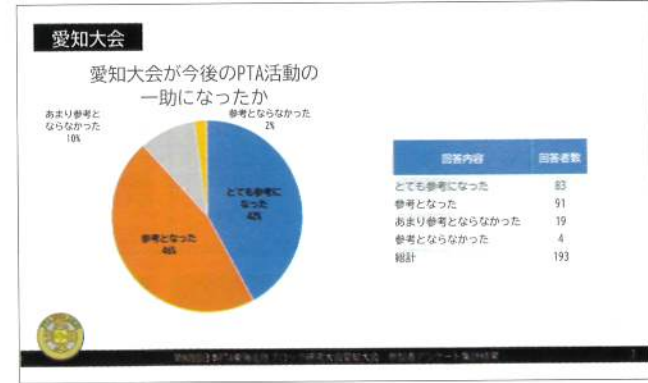
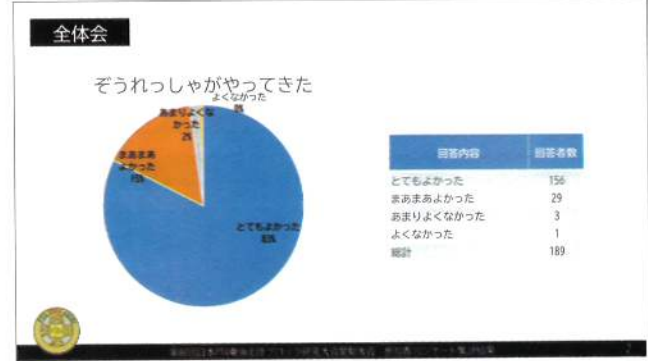
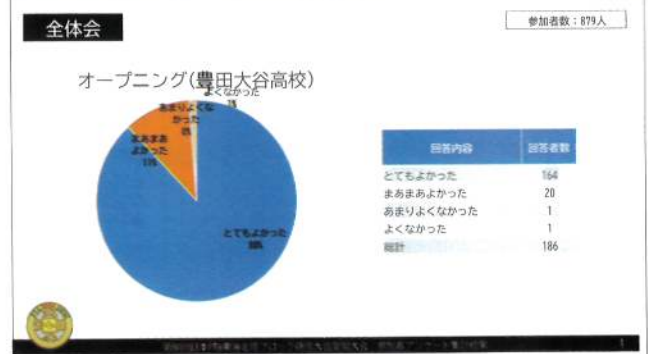
26日(土)はNiterr日本特殊陶業市民会館に会場を移して、9時から開会式と記念講演、閉会式までの約3時間30分を過ごしました。記念公演では、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」という題目で、愛知子ども達の幸せと平和を願う合唱団と、ともに歌う合唱団が出てきて、とても斬新なスタイルで圧倒されました。最後に参加者全員がその場で起立して一緒に歌いまして、一つになれたとても素晴らしい公演でした。子ども達にも是非聞かせてあげたかった公演です！

あっという間に閉会式を迎えましたが、この中で一番皆様にお伝えしたいこととして、次年度が石川県で開催するという事でPRをされました。震災と豪雨災害の復旧も道半ばの中、実行委員会の皆様がそれでも開催するという熱い想いを語って頂きまして、我々はこの想いを受け取って、お隣石川県へ多くのPTAの皆様と参加しましょう！



	石川	三浦	高山	岐阜	福井	愛知	愛知予選	愛知	愛知	愛知	愛知	愛知
第1分科会	9	13	5	12	60	30	129	189	318	251	8	259
第2分科会	6	2	5	9	60	8	90	138	228	182	10	192
第3分科会	28	0	1	16	0	2	47	146	193	166	9	175
第4分科会	1	2	1	37	0	4	45	141	186	169	10	179
第5分科会	12	76	11	9	60	2	170	205	375	295	15	310
第6分科会	1	3	65	8	58	3	138	161	299	226	21	247
分科会								1,589	1,289	73	1,362	
全体会のみ参加	1	10	1	13	0	11	36	249	285			
全体会									848	31	879	
計	58	106	89	104	238	60	655	1,229	1,384			2,241

愛知大会参加者数  
 分科会参加者数 1,362名  
 全体会参加者数 879名  
 連日参加者数 2,241名  
 来賓 20名  
 (愛知大会実行委員、分科会運営スタッフ、全体会運営スタッフ194名)





# 一筆啓上・わが家の三原則入賞作品

小学生 低学年の部

**会長賞** 若狭町 子氏名 岡本 沙詢  
 熊川小 2年 保護者氏名 岡本 令子

**三原則**

- ① いっぱいたべる
- ② いっぱいあそぶ
- ③ いっぱいわらう

**一筆啓上**

おかあさんへ  
 はやくカレーのつくり方を教えてね。わたしもうりょうりをして、みんなをえがおにしたいから。

さやへ  
 こんなにも近くに、頼もしい小さいお母さんがいたんだね。笑顔よりも先に、涙が出ちゃうよ。

**福井ブロック賞**

福井市 子氏名 朝倉 唯菜  
 明新小 2年 保護者氏名 朝倉佳央里

**三原則**

- ① やる前にあきらめない
- ② わるい言ばをつかわない
- ③ おてつだいをする

**一筆啓上**

ママへ  
 わたしは、いつかママにじゅうどうでかつよ。せおいで一本かけてやる。でも大ききだよ。ありがとう。

ゆいなへ  
 お母さんも大好き。でも負ける気はありません。くやしかったらもっと泣かずに練習しなさい。

**坂井ブロック賞**

あわら市 子氏名 本田おう花  
 金津小 3年 保護者氏名 本田ゆきえ

**三原則**

- ① 何でも4とうぶん
- ② 何でもびょうどう
- ③ たのしみは4ばい!!!

**一筆啓上**

ママへ  
 何でも4とうぶん。ケーキもお兄ちゃんのお古ばかり? ケーキも小さい。

おうかへ  
 4人兄弟。ケーキは小さくなっちゃうけど、おもちゃと楽しさは4倍だよ!

今年もたくさんの応募を頂き、全部の作品に目を通させて頂きました。どの作品も素晴らしく選出しながら涙ぐむ役員もおられました。暖かい家庭の状況が伝わってくる素敵な作品ばかりでした。

## 一筆啓上・わが家の三原則 応募総数 14,156点



小学生 高学年の部

**会長賞** 若狭町 子氏名 竹下 純希  
 三宅小 4年 保護者氏名 竹下 汐梨

**三原則**

- ① しっかりあいさつ
- ② 目を見て話す
- ③ その日のうちにかなお

**一筆啓上**

娘たちへ  
 順番にしゃべることできないの? お母さんは聖徳太子じゃないんだよ。

おかあさんへ  
 それはむり! だって今しゃべりたいんだもん!!

**福井ブロック賞**

福井市 子氏名 新川 心琴  
 日之出小 4年 保護者氏名 新川さおり

**三原則**

- ① 毎日宿題
- ② 自分で起きる
- ③ お手つだい(せんたく物をたたむかごはんを作る)

**一筆啓上**

ママへ  
 今年はたくさんお手伝いできなくてごめんなさい。でも秋休みなどは、お手伝いします。

みことへ  
 夏休み、いつ手伝ってくれるかと首を長くして待っていました。もう首がちぎれそうです。秋まで待てない!!

**坂井ブロック賞**

坂井市 子氏名 山本 大地  
 春江西小 6年 保護者氏名 山本智恵美

**三原則**

- ① 感謝の言葉を使う
- ② 笑顔であいさつ
- ③ 返事をする

**一筆啓上**

母へ  
 しごとでつかれているのかな? もうすこし笑顔がほしいよ!!

大地へ  
 あら? 笑顔足りなかったかな? よし! 百倍笑顔で返して、笑いあふれる家になろうね。

**奥越ブロック賞**

勝山市 子氏名 澤 奏愛  
 成器西小 2年 保護者氏名 澤 千愛

**三原則**

- ① なんでも話す。
- ② いつでもみかた。
- ③ みんななかよく。

**一筆啓上**

おかあさんへ  
 いつも、おうえんしてくれてありがとう。これからも、おうえんしてね。

奏愛へ  
 いつもあなたのことはたくさんの人が応援しているよ。でも、応援団のリーダーはおかあさんです。

**丹南ブロック賞**

越前市 子氏名 高橋 詩  
 岡本小 2年 保護者氏名 高橋亜沙美

**三原則**

- ① ものをだいに
- ② 体をだいに
- ③ 心をだいに

**一筆啓上**

ママへ  
 ママは、どうしてパパとけっこんしたの。

うたちゃんへ  
 うたちゃんにそっくりだったからかな。

**嶺南ブロック賞**

小浜市 子氏名 中村美乃里  
 内外海小 3年 保護者氏名 中村奈津美

**三原則**

- ① 何でも はなそう
- ② 何でも ハグしよう
- ③ いつでも ありがとうを言う

**一筆啓上**

みーさんへ  
 ママが お風呂にいても トイレにいても「ママ! 今日ね…」と話して来るの、年少さんの頃から変わらんあ。

ママへ  
 だって、いつでも何でも話してねって言うのママさん。それに、ママは私の話うれしそうに聞いている。

中学生の部

**会長賞** 鯖江市 子氏名 榮 南智  
 中央中 3年 保護者氏名 榮 瞳

**三原則**

- ① やってみよう!
- ② 「ごめんなさい」と言う!
- ③ 感謝を忘れない!

**一筆啓上**

おかあさんへ  
 お母さんの「ありがとう」と言う言葉が今では私の口癖にもなったよ。優しいおかあさんいつもありがとうね。

南智へ  
 「ありがとう」「ごめんなさい」は魔法の言葉だと思っています。大人になっても忘れないでほしいな…!!

**福井ブロック賞**

福井市 子氏名 川崎 千  
 足羽第一中 1年 保護者氏名 川崎 清美

**三原則**

- ① 朝のあいさつ
- ② くつろえ
- ③ 制服がけ

**一筆啓上**

中学生になった孫へ  
 いってらっしゃい。友達にむかって一直線。小学校の時のように、ふりむいて手をふってくれないかな。

ばあばへ  
 ちがうよ。見送ってくれる家族がいるから、前を向いて進んでいけるんだよ。

**坂井ブロック賞**

あわら市 子氏名 木田真莉乃  
 金津中 1年 保護者氏名 大崎 菊枝

**三原則**

- ① 1日100回笑顔になって
- ② 1日100回愛を届けて
- ③ 1日100回感謝を伝える

**一筆啓上**

おばあちゃんへ  
 毎日優しい味のご飯ありがとう。学校が終わったら必ずあるよるごはん。おばあちゃんのご飯の味大好きだよ。♡

真莉ちゃんへ  
 毎日勉強や部活頑張っている真莉ちゃん。今日の夕食「美味しかったよ」と言ってくれ嬉しくなり又作るね♡

**奥越ブロック賞**

勝山市 子氏名 山内 青依  
 三室小 5年 保護者氏名 山内みのり

**三原則**

- ① 家族ですごす時間を大切に。
- ② いっぱいあそぶ。
- ③ いっぱいたべる。

**一筆啓上**

家族へ  
 なかなか5人でごはんを食べられないけど、5人そろごはんの時間が一番楽しくておいしいね。

子供たちへ  
 あんなに忙しかったごはんの時間も、今は大切なコミュニケーションの時間になったよ。いつもありがとう。

**丹南ブロック賞**

池田町 子氏名 小谷 怜央  
 池田小 5年 保護者氏名 小谷 裕之

**三原則**

- ① 大きな声で「いってきます」
- ② 大きな声で「いってらっしゃい」
- ③ 明るい声で「おかえり」

**一筆啓上**

お父さんへ  
 お父さん、毎日早くからお仕事ご苦労さま。ぼくは毎日元気にあいさつするよ。

怜央へ  
 毎朝、元気な「いってらっしゃい」ですごくエネルギーもらってます。帰宅して「おかえり」で、疲れもふっ飛びます。

**嶺南ブロック賞**

敦賀市 子氏名 今堀 咲希  
 松原小 4年 保護者氏名 今堀 佳子

**三原則**

- ① ゆずりあう!
- ② おもいやる!
- ③ はりあわない!

**一筆啓上**

お母さんへ  
 兄弟げんかをしてしまう時、なるべくお母さんをおこらせないようにしています。本当は兄弟みんな大好きだよ。

さきへ  
 毎日けんかをしているけど、仲良く遊んでいる方が、きっと楽しいよ。仲良し3人兄妹が大好きだよ。

**奥越ブロック賞**

大野市 子氏名 城地紗知嘉  
 陽明中 3年 保護者氏名 城地 翔子

**三原則**

- ① 家族の自覚を持つ
- ② 仲よく過ごす
- ③ 心も体も成長する

**一筆啓上**

おかん、おとんへ  
 いつも 我が強い娘で ごめんね。不安になりがちだけどいつも サポートありがとう。立派な人になってみせるね。

むすめへ  
 おとんとおかんは、あなたのサンドバッグです。どしどしぶつかったり、よしかかたりしてね。ファイトー!!

**丹南ブロック賞**

池田町 子氏名 森下 天翔  
 池田中 1年 保護者氏名 森下ゆみ子

**三原則**

- ① おはよう
- ② おやすみ
- ③ ありがとう

**一筆啓上**

お母さん、お父さんへ  
 いつもそばで僕を支えてくれてありがとう。ぼくは、たくさんめいわくをかけると思いますが、お願いします。

息子へ  
 支えてもらっているのは母の方です。君が元気でいてくれるからがんばれます。迷惑じゃなく母の喜びです。

**嶺南ブロック賞**

小浜市 子氏名 大橋 奏斗  
 小浜中 3年 保護者氏名 大橋恵梨香

**三原則**

- ① おかわりは2回まで!
- ② 兄弟げんかは2回まで!
- ③ 親子の会話は2回以上!!

**一筆啓上**

母へ  
 部活の愚痴から勉強の愚痴まで聞いてくれてありがとう。これからは僕が、お母さんの愚痴を聞いてあげるよ。

息子へ  
 口数が少なくなるかと思いきや、中3になってより話し相手になってくれて感謝。何でも話せる親子でいようね。

優秀賞

学校名	子氏名	保護者氏名
坂井市 雄島小3年	岡崎 和葉	岡崎 郁
大野市 下庄小3年	三嶋 ひな	三嶋ひかる
池田町 池田小1年	田中 凜汰	田中 美穂
南越前町 河野小1年	酒井 玲音	酒井 葵
鯖江市 吉川小1年	養輪 颯士	養輪 良子

学校名	子氏名	保護者氏名
越前町 宮崎小2年	多田 莉杏	多田沙有理
敦賀市 敦賀南小2年	山崎陽彩香	山崎 友美
美浜町 美浜東小1年	辻井志緒理	辻井美沙子
おおい町 大島小2年	寺澤 凜	寺澤 公祐

学校名	子氏名	保護者氏名
あわら市 本荘小5年	笹原 心花	笹原 育美
大野市 有終南小5年	牧野 佑省	牧野 扶憲
越前市 王子保小6年	牧 奏佑	牧 美香
南越前町 南条小4年	加藤弘士郎	加藤 和弘
鯖江市 惜陰小5年	青山日真里	青山由希子

学校名	子氏名	保護者氏名
越前町 織田小5年	川上 雄飛	川上 理英
小浜市 小浜美郷小5年	武内颯太郎	武内安季子
おおい町 大島小5年	濱谷 蓮愛	濱谷 伸子

学校名	子氏名	保護者氏名
坂井市 丸岡南中2年	鈴木 啓友	鈴木 千鶴
勝山市 勝山中中2年	山内 美空	山内 由香
越前市 武生第二中1年	岡本 大撰	岡本 希美
南越前町 南越前中3年	高木 奏輔	高木 友美
越前町 越前中3年	畑 絢奈	畑 真里

学校名	子氏名	保護者氏名
敦賀市 栗野中2年	岡林 郁真	岡林 沙織
美浜町 美浜中1年	佐藤 希香	佐藤 栄美
若狭町 三方中3年	吉田 奈央	吉田友里子
おおい町 大飯中2年	小林 凜香	小林 早恵

優秀賞



# 子育てのヒント★発信中

福井県教育庁義務教育課では家庭教育の充実に向けた様々な取り組みをしています。皆様の子育てにお役立ていただきたい情報を発信していますので、ぜひご覧ください！

## 親はぴトーク

保護者同士が交流しながら、お互いの子育ての悩みや不安を気軽に話し合い、子育てについて楽しく学び合うためのプログラムです。

### ◆話してスッキリ エンジョイ子育て

「子どもがゲームをなかなかやめないとき、どんな言葉をかけたらいいたろう？」  
「いつも怒ってばかり。いい叱り方ってどんな叱り方？」  
「みんなはどんな子育てをしているの？」  
子育ては悩みや不安が多いですが、いろいろな人と話し合うことができれば、気持ちも楽になりますね。「親はぴトーク」は、保護者同士が交流しながら話し合うことで、不安や孤立感を解消し、子育てのヒントや仲間づくりに繋がります。

PTAの集まりや学級懇談会などで活用してみませんか？活用方法やワークシートなど、下記二次元コード（URL）よりご覧ください。

【二次元コード】  
親はぴトーク



【URL】  
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gimu/oyahapi.html>



## リーフレット

生活習慣やインターネットの適正利用など、家庭教育についてのリーフレットを作成・配布しています。子育ての悩みを解決するヒントが見つかるかもしれません。

### 親子で考えるフィルタリング設定

子どもの成長に合わせてフィルタリングの設定を変更することができることなど、フィルタリングを活用するためのポイントが記載されています。お子様がインターネットのトラブルにあわないためにも、フィルタリングで対策し、安全な利用環境を整えましょう。



配布対象：全学年

### インターネットの適正利用

お子様の安全なネット環境を作るのは保護者の役目です。ネットの危険性や発達段階に応じたネット環境作りのポイントが記載されています。それらを参考にして、ご家庭のネット利用のルールを、お子様と一緒に決めていきましょう。



配布対象：小3、中1

### 家庭・学校連携サポートブック

子どもたちが笑顔で毎日を過ごすために家庭でできること、お子様が学校に行きづらさを感じたときの相談先などが記載されています。悩みや不安は決して抱え込まず、学校や関係機関と一緒に解決していきましょう。



配布対象：全学年

### 子どもが自分らしく輝くために

規則正しい生活習慣を身に付けるための秘訣や、子どもが愛されていると感じる親のかかわり方など、これから小学校入学を迎えるお子様をもつ保護者の皆様に向けた情報が記載されています。



配布対象：新小1

### STOP!いじめ

気がかりなことがあれば、いじめの未然防止・早期解決に向けて、学校や関係機関にご相談ください。すべての子どもがいじめの加害者にも被害者にもなる可能性があります。お子様の様子がいつもと違うなと感じたら、まずは寄り添って話を聞いてあげましょう。



配布対象：新中1

### ふくいの教育ミラレポート

このミラレポートは、福井県の学校が目指す姿と、福井県の教職員が子どもたちと接していくうえで意識すべきポイントをまとめたものです。教職員も、保護者の皆様と連携しながら、すべての子どもたちの笑顔のために教育活動に取り組んでいきます。



配布対象：教職員

【二次元コード】  
ミラレポート

【二次元コード】  
各種リーフレット



【URL】  
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/gimu/fukue-portal.html>

【お問い合わせ】  
〒910-8580 福井市大手3-17-1 福井県教育庁義務教育課  
TEL:0776-20-0574 E-mail:gimu@pref.fukui.lg.jp

※リーフレットは対象学年に配付していますが、全ての保護者の皆様にご覧いただきたい内容になっています。詳しくは下記からご確認ください。



【特別委員会カタリバCaféを企画運営したメンバーに感想を聞いてみました。】  
【当日開催された雰囲気を感じ取って頂ければ幸いです。】

【高田】先日はお疲れ様でした。3人にとって特別委員会企画運営するのは初だったと思うけど、やってみてどうでしたか？

【佐々木】最初のテーマと違ってきちやたらから、そこそこがすごい慌ててきちゃったから、直したっていうのがすごく大変だったけど、でもヒントを得てできたのはすごく良かったなと思う。後で、本当に有益な時間になったって声を聞いたから、良かったなあって思っています。

【高田】私も外で見ていたけど、場の雰囲気はすごくあったかいなって思っています。3人がいい雰囲気出してたから、みんなも参加しやすいかな、って。実際、

【高田】私も外で見ていたけど、場の雰囲気はすごくあったかいなって思っています。3人がいい雰囲気出してたから、みんなも参加しやすいかな、って。実際、



中でやって参加してくれたみんなの感じってどんなだった？初めは緊張していたっばい？

【角屋敷】そうだね。どんな感じなのか手探りな感じ。それはお互い様だし。でも打ち解けていったのがすごく分かった。時間が経つにつれて。

【高田】どの辺で？

【佐々木】途中で話をね。自分の悩みとかを間に入れてくれた人がいたりしたの。

【山内】うちの中学校の息子がポモドーロテクニック（25分作業や勉強をやって5分休憩するそれを繰り返す）で勉強していると伝えただけで、すごく関心を持って聞いてもらえて。

【角屋敷】人の家の雰囲気とかそういうのを聴けると場がすごくつながる。それは感じた。

【高田】人の意見を聞くことで、参加した人もなにか言いたくなって、自分もしゃべりたいなみたいな？

【佐々木】それはあると思う。

【山内】あと、人数的によかったのもあるのではないかな、しゃべりやすい人数。

【角屋敷】県PTAがやっているからなんかしやべれるっていうのもあったのかも。参加するのには気持ちのハードルが高いっていうのはあるのだけど、でもそれが逆に信頼できるっていうか。信頼できる団体がやっているとセミナーだから、信用して腹が割って話せるというのがあると思う。

【佐々木】目線も同じだったもんね。

【角屋敷】そう、上からじゃなく。かと言って何も知らない、語れない、私たちがしゃべることから。

【佐々木】やっぱり、東陸で講演聞いて学んだから、それも出すことができたかな、って。

【角屋敷】そうだね。色々な種類の悩みを持った人がいて。そういう人が集ったことによって、今まで自分にはなかった考え方がその場で生まれて、それを実感すること多かった。

【高田】こういう声もあるんだ！身近にいない悩みがある人の話が聞けた！っていう感じ？

【佐々木】そうそう、みんな経験したことないことで悩んでいるわけだから。話している人も聞いている人も、親身になって一緒に考えるのよね。で、「来て良かった！」って笑って帰ってくれて。背中を押される時間だったんじゃないかなと思う。

【佐々木】茶話会で、グループで話してきたのもよかった。最後に発表するってなると書きも必要だし、話すことも気を遣ったかもしれないけど、それはなかったから。本当に、ただの茶話会。それが、良かったの。

【角屋敷】県教委の先生もいらしたからね。現場の声も聴けて、県教委の考えとかも。あと、子どもの年齢も様々だったから、「タメ」になったんだよね。

【高田】「自分の子供が成長した時、こういうことが起こるんや」みたいなことを、事前に心の準備ができた感じ？

【佐々木】そうそう！5人子育てしている人もいれば、1人っ子の親もいて、その考え方の差も面白かった。子供の悩みもあれば、いろんなタイプの親もいるってわかったし。自分がいっているって言うことが、相手にはそうじゃなくて。伝え方とか言い方って大事な、って改めて気づいたし。とにかくためになったね。

【高田】開催した私たちもよい学びの時間を持てたってことだね。

【角屋敷】せっかく県PTAがしてるんだから、もっと規模大きくしてやったらいいのって言うてくれた方もいた。

【佐々木】ありがたいよね。子連れで来てくれた方もいてよかったな、って思います。

【高田】当初考えていたテーマから変わったけど、今回のテーマでやってみんなの生の声が聞けてやって良かった！って、運営した側も満足したということだね。

【角屋敷】そうだね。今回は20人ぐらいだったけど、なんかもっとと人数集まって聞きたいと思った。

【佐々木】席替えしていろんな人と交流できるようにするのもいいかもしれないね。

【高田】もう少し時間も長くしてほしい、って声もありましたからね。

【高田】親が集まって話す場っていうのはなかなかないものね。保育所だと、迎えに行つて顔合わせて、あるかもしれないけど、小学校中学校になるとそういう機会もないから、Home & Schoolで配信されても、スルーしちゃうかなって思う。でも、参加者の声とか伝えていけたら、参加してみよう！って少しは思ってもらえるかな、って。

【角屋敷】いろんな開催地できるといいね。

【高田】今年の1回目は嶺南でやったから、2回目は嶺北でしたいなって思ってる。1年の間にいろんな地域で何度もするのは大変かもしれないけど、年度を超えているんなところをやってみるのはいいかも思っている。

【佐々木】少人数でもいいと思うの。周知する方法を考えていくのも大切だね。

【角屋敷】今回やっているから、集客の仕方でもっと考えられると思う。パパで参加してくれる人もいて、すごいありがたいな、って思った。やっぱり、男の子の気持ちは男性じゃないとわからないこともあるからね。

【山内】お父さんの役割や自分が子どもだった時のこととか、何気ないことでも話してみたら、ほかの方のためになつてると感じましたね。

【高田】お父さんの声ってありがたいね。他の家のお父さんはどう考えているのかな、ってなかなか聞けないもんね。開催して運営してもらったみんなの満足度も高くてよかった。

【角屋敷】またやりたいかと思ったよ！

【高田】ほんとよかったです！

【佐々木】そうそう思った。

【高田】じゃあまたぜひ。2回目以降は、もっと広報して。たくさんの方が参加してもらえようと考えていきたいと思います。

【角屋敷】お願いします。

【佐々木】はい、お願いします。

【全員】ありがとうございます。

（注）保護者と学校をつなぐアプリ、県内の自治体で導入が進んでいる。

（注）内は、所属アロックス



日本PTA全国協議会会長表彰

【団体】万葉中学校PTA(越前市)

学校、地域、PTAが連携して行う「赤米づくり」を通して、子どもたちが地元の歴史、文化を学び、地域の人とのつながりを育んでいます。

保護者と教員が意見交換する場としての学年懇談会、警察と連携し、少年犯罪やスマホ・携帯の適切な利用についての講演会、卒業生に送るかたかごの花のコサージュ作り、市P連交流大会に向けての練習会等、保護者・教職員・生徒・地域のつながりを大切にしています。学校祭では、PTAが競技準備の補助や制服のリサイクル販売、バザー等を行っています。

PTA広報紙をデジタル化しアプリで各家庭に配信、PTA活動についての意見や反省の集約にICTを活用するなど、工夫して経費削減、効率化にも取り組んでいます。

第79回東海北陸ブロック研究大会福井大会第6分科会(地域連携)で、実践発表し、参加者から、地域連携の有益さについて、共感と賛同を得ています。



【個人】

小林 寛史(坂井市・R5県P連副会長)  
渡 祐士(勝山市・R5県P連副会長)

令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰式 令和7年2月28日/文部科学省東館3階 第一講堂

阪谷小学校PTA

家庭・学校・地域のつながりを大切に、協働しての活動を推進しています。

- ・学校・地域と連携し、地域の魅力「星空」をテーマにふるさと学習に取り組んでいる。
- ・休耕田での「ドロリンピック」を主催し、児童の体験活動に資している。
- ・校区座談会を開催し、地域住民と子供を中心とした地域活動について情報交換、意見交換会をしている。
- ・スポーツ大会で親子がふれあえる種目を企画・運営し、親子での体験活動を継続して行っている。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」等による基本的な生活習慣作りを推進している。



第46回全国小・中学校PTA  
広報紙コンクール

日本教育新聞社 社長賞

円山小学校PTA(福井市)「GOGO えんざん」

(審査総評)PTAの各部紹介等の記事に加え、「ネット時代」や「キャリア教育」を特集したり、「PTA広報紙」の必要性について真正面から取り上げ、調査と対談で構成するなど、会員とともに考える紙面づくりを実現している点が評価されました。



写真賞

社南小学校PTA(福井市)「やしろ南PTAタイムズ」

(審査総評)活動中の姿、会合であっても動きのある写真が選ばれていました。運動会ではPTA会員による写真コンテストの作品も掲載され、PTA活動に写真が生かされています。内容も保健室探訪や心身の成長アンケートなど、充実した記事を掲載していました。



奨励賞

平章小学校PTA/清明小学校PTA/磯部小学校PTA  
敦賀南小学校愛育会/粟野中学校PTA/森田中学校PTA  
気比中学校PTA/河合小学校PTA (WEB版)

敦賀南小学校PTA

PTA活動をSDGsへの取組みと関連付けて、新たな活動内容の工夫改善、参加意欲の向上につなげ、愛育会活動をアップデートする試みを続けています。

- ・「ふくいSDGsパートナー」への登録を行い、子供達が安心して住めるまちづくり、子供達を守る家庭づくりを目指している。
- ・学校情報配信アプリを、情報発信とともに、会員意見収集に活用し、PTA活動の活性化を進めている。
- ・「黄色いハンカチ運動」等、地域・学校・保護者の連携協力による見守り活動を進めている。
- ・学校と協力してのネット犯罪被害防止の研修会を開催している。
- ・読んでもらえ、学びと参加につながる魅力あるPTA広報紙を発行している。



ゆめ基金

【書き損じはがき収集数】12,612枚 【収益】444,941円(令和5年度収集分)  
【単位PTA活動支援金】26PTA 【小規模校支援金】9PTA 【支援総額】690,000円

有終南小学校PTA

児童進学先である開成中学校の吹奏楽部を迎えた演奏会を開催。楽しいひとときを家族と一緒にすごし、子どもたちの情緒の安定や豊かな人間性の形成に一躍を担うことができた。



文珠校PTA

「ふくい E オペラプロデュース」の皆さんによるオペラ「泣いた赤おに」を鑑賞。単にオペラを鑑賞するだけでなく、鑑賞を踏まえて親子で語り合う場を設けたことで、じっくりと親子で向き合って話し合うことができ、保護者からも好評であった。



武生東小学校父母と先生の会

浜松市積志小学校5年生児童122名を迎えての63回目の姉妹校交歓会。デジタル時代ではなかなか味わえない文通での交流により、子供達の心の成長にもつながる事業です。バルーンリリース。火花打ち上げ等、盛り上げ演出にがんばりました。



美浜東小学校PTA

千崎愛先生(福井大学医学部附属病院小児科 公認心理士・臨床心理士)に「その子らしさを伸ばしたい小学生の今だからこそ、親ができること」を演題ご講演いただいた。ミニワークを交えながら、子供たちの自尊心を高める言葉がけなど、日常生活の中での子供との関わり方について学ぶことができました。



惜陰小学校父母と先生の会

山根恵氏(小児救急看護認定看護師)を講師に、「体調不良時の初期対応及び予防策について」をテーマに、熱中症、発熱時の初期対応や誤飲誤嚥といった日常生活で起こりやすい内容での講義を開催した。とてもわかりやすく、いざ子どもが発症した場合に対して知識を得られよかったという感想が寄せられた。



吉野小学校 教育振興会

わいわいスマイルフェスタ。教育振興会、地域の各団体がイベントコーナーを出し、全児童は2時間自由に体験した。児童は、コーナー体験したり、手伝ったりすることによって地域の方や教育振興会会員と交流することが出来たと共に毎日多くの方に見守られているという事に気づき感謝することが出来た。



三室小学校PTA

校区の三室山遺跡に関連しての、年間を通しての「縄文学習」。各分野の専門家を講師とし、充実した活動だった。遅羽地区と縄文時代との関係を知ることができてよかった。勾玉づくりは、親子で活動出来て楽しかった。



神明小学校そだての会

「にこにこチャレンジ学級」学校活動では行われない9つのチャレンジ。進行や準備はすべて「保護者」が担当した。児童がこの機会を通して自身の新たな特技を発見し、自己肯定感の向上に役立ててほしいと願い実施した。先生方も児童と一緒に楽しい時間を共有し、思い出に残る時間となった。



木部小学校PTA

地域の方の協力により、校庭がきれいに整備されたので、とてもありがたかった。児童、職員、PTA会員、地域の方等がいっしょになって学校をきれいにできたのでよかった。特に防草シート張りには木部まちづくり協議会、区長会等の地域の方のおかげで実施できた。



平章小学校PTA

「子ども緑日」では、複数の体験コーナーで親子が協力楽しくゲームなどに取り組むことができた。また、制服と体操服のリユース会では、保護者から、子どもの成長により「制服や体操服がすぐ小さくなってしまっているので、このような機会があるとありがたい」という多数の意見をいただくことができた。



城崎小学校PTA

親子ふれあい体験では、事前に希望選択したダンス・リリースづくり・科学実験の体験に、各親子が楽しく活動した。体験後は、越前町産の野菜等を自由に選んで挟んだセルフコッペサンドを親子で調理体験し、おいしく食した。



大島小学校PTA

PTAプール清掃・資源回収・水槽清掃。地域の人間関係もよく、保護者の学校行事への参加率は高い。プール清掃では、高圧洗浄機を持っている保護者はプール全般(排水溝、壁面、床)を行い、そうでない保護者はプールサイドの草むしり、トイレ、更衣室を分担して行った。保護者の人数が少ない分、教職員とのコミュニケーションが取れ情報交換の場となっている。



四ヶ浦小学校PTA

親子奉仕活動(最後の体育大会に向けて)今年度を最後に閉校となる本校の体育大会に、保護者や地域の方にも参加していただけるように、時期や内容を変更して実施した。保護者も児童も「きれいになったグラウンドで、気持ちよく体育大会を迎えられる」という声が聞かれた。



常磐小学校PTA

思い出を描こう(絵画)、地区奉仕作業。絵画教室では、自校に対する思いを膨らませながら取り組んだ。色々な活動を思い出の中で、学校や地域を愛する心を育むことができた。



岡保幼・小学校PTA

落語家 桂枝女太氏を講師に、演題「「たっぴり笑って少し考えて・言葉の力」～差別用語の招待～」で講演会を開催した。時代や世相等、様々な要因によってある時まで普通につかわれていた言葉が、差別語として扱われたり、漢字は避けられひらがな表記されるようになってきており、その変遷の裏にあるものについて考えさせられた。子供達は、「言葉を使う時には、相手がどのように感じるのかについて注意してつかわないといけない」等の感想を持った。





# ドクター通信

福井県PTA連合会 安全会審査委員 (田中病院院長) 田中 章善



## オスグッド病を ご存知ですか？

オスグッド病とは小・中学生のお子さんに発症するスポーツ障害です。

オスグッドは、正式名称を「オスグッド・シュラッター病」といいます。アメリカの整形外科医オスグッド氏と、スイスの外科医シュラッターが、この症例を学会に報告したことから名づけられました。

小学校高学年から中学生くらいの成長期にあたる子どもに頻発するスポーツ障害で、特にサッカーやバスケットボール、バレーボールなど、膝への負担が大きいスポーツ種目で多くみられます。男女比では男子に多いのが特徴です。

膝のお皿の下あたりには脛骨(けいこつ)と呼ばれる太い骨が存在し、その近くに脛骨粗面(そめん)という骨が隆起した部分があります。脛骨(けいこつ)は、この骨が少しずつ突出し、痛みが発生した状態を指します。

成長期の子どものよくみられる痛みだと軽視されがちですが、オスグッドの場合、我慢して運動を続けていると成人してから後遺症をもたらすケースがあります。痛みや熱感、腫れなどがある場合は、練習を休んで安静にすることが大切です。

太ももの前にある大腿四頭筋(だいたいしとうきん)は、膝の曲げ伸ばしをするときに重要な役割を担っています。オスグッドは、この大腿四頭筋の使いすぎや柔軟性の低下を

きっかけに症状が出るケースがほとんどです。

大腿四頭筋は膝のお皿(膝蓋骨、しつがいこつ)を経由して、脛骨粗面に付着しています。サッカーやバスケットボールなどで膝を伸ばす動きを繰り返し行っていると、大腿四頭筋に膝蓋靭帯を介して付着している脛骨の結着部が強く引っ張られる状態が続きます。その際に、骨端軟骨の一部に剥離が起こることで発症します。

子どもの骨は、やわらかい骨から硬い骨へと成長する過程にあり、どうしても不安定な状態です。また、骨の成長スピードに対して筋肉や腱の成長が追いつかず、アンバランスな筋骨格構造になっています。

そこに過剰な運動による負荷が加わることで、膝の痛みが起ると考えられています。ほとんどの場合、成長が終わると痛みが治まりますが、無理をすると成長期が終わってからも痛みが残ることがあるので、休息と発症後は適切なケアが必要です。

膝の痛みがあっても練習を休まずに続けている子どもはたくさんいます。自分の不調を正しく説明できなかったり、つい「大丈夫です」と言ってしまうと、なかなか言い出せない子供もいます。周囲の大人が変化に気づき、ケアや休息の大切さを含めて、コミュニケーションをとるようにしてあげましょう。痛みが強い場合は医療機関(整形外科)を受診してください。重症化する手術が必要になる場合もありますのでご注意ください。

## 安全会通信

## 会費納入方法の変更について

### 従来の安全会費の納入方法

「単P」ごとに安全会口座(福井銀行)に「銀行振込」で納入・「会費現金持参」

### 納入方法変更に伴う各単Pにお願いする手続き・負担等について

安全会加入申し込み時に①安全会加入申し込み書2部と一緒に、3月中に安全会から送付される②「預金口座振替依頼書」を記入・作成し、③登録した「振替口座通帳の表紙・裏コピー」を安全会事務局に送付する。

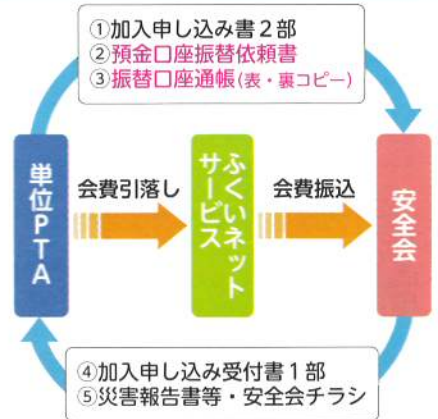
②「預金口座振替依頼書」記入・作成、③通帳コピー送付は令和7年度だけで、令和8年度からは変更届けを出不さい限り、同一登録口座からの引き落としになる。

### 変更後の納入方法

各単Pから送付して頂いた「登録振替口座」から安全会会費を、集金回収業者(ふくいネットサービス)が指定日に引き落としして集金後、一括して安全会口座に入金する。

※各単P登録「振替口座」から安全会費引き落としの際、引き落とし手数料110円(単P負担: 県内金融機関口座のみ)が会費と一緒に引き落としされる。集金業者から安全会口座への振込手数料(1回330円)は安全会が負担する。

【従来の「銀行振込」か「会費現金持参」による会費納入】令和7年度から上記の納入方法でお願いしたいが、承認頂けない単Pについては、従来の方法の納入でも受け付ける。ただし、令和8年度からは変更後の納入方法に統一する



## 編集後記

広報紙の発行につきまして、たくさんの方にご指導、ご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。PTA活動の楽しさが少しでも多く伝わるように作成しました。HPもご覧下さい。



## お知らせ

### 第76回 福井県PTA連合会 年次総会

日時 令和7年5月25日(日)

場所 県産業会館